

# 大河津可動堰 環境調査について

平成 16 年 5 月

国土交通省北陸地方整備局  
信濃川河川事務所

## まえがき

大河津可動堰は、信濃川と大河津分水路の分派点に位置し、昭和6年に完成して以来、洗堰とともに大河津分水の根幹的施設（分流制御施設）として、治水、利水機能等に大きな役割を果たしてきている。しかし、設置後70年以上経過し、施設本体の老朽化が顕著となるとともに、敷高等の影響により流下能力不足が生じており、その抜本的対策が急務となっている。こうした状況を踏まえ、平成15年度、新規に特定構造物改築事業として着手したところである。

可動堰改築事業を実施するにあたっては、近年の環境に対する社会的関心の高まりや当該工事の規模、工事实施に伴う近隣への影響等を勘案し、また、分水路は、人工河川ではあるものの、この80数年間で形成された自然環境を十分把握するため、周辺環境調査及び必要な検討を行った上で環境に配慮しながら工事を進めることが必要であると考えている。

本書は、可動堰改築事業の実施にむけて、事業の特性、地域の特性をもととして必要な環境調査及び検討の実施方法等について、まとめたものである。

なお、調査方法等の検討にあたっては、学識経験者等からなる検討委員会を設置し、調査項目、調査方法、予測、評価の手法について意見を伺った。

## 大河津可動堰環境調査について 目次

### まえがき

1. 周辺地域の概況 .....	1
2. 事業の概要.....	2
<b>2-1 改築事業の工事内容 .....</b>	<b>2</b>
<b>2-1-1 可動堰改築事業の概要.....</b>	<b>2</b>
<b>2-1-2 可動堰の基本諸元.....</b>	<b>4</b>
<b>2-1-3 可動堰改築事業の工事内容.....</b>	<b>4</b>
3. 周辺地域の現況 .....	5
<b>3-1 周辺地域の社会的状況.....</b>	<b>5</b>
<b>3-1-1 人口及び産業の状況 .....</b>	<b>5</b>
<b>3-1-2 土地利用の状況 .....</b>	<b>6</b>
<b>3-1-3 河川及び地下水の利用の状況 .....</b>	<b>10</b>
<b>3-1-4 交通の状況 .....</b>	<b>10</b>
<b>3-1-5 学校、病院等の施設及び住宅の配置の状況 .....</b>	<b>12</b>
<b>3-1-6 環境の保全に係わる法規制の状況 .....</b>	<b>14</b>
<b>3-2 周辺地域の自然的状況.....</b>	<b>16</b>
<b>3-2-1 大気環境の状況 .....</b>	<b>16</b>
<b>3-2-2 水環境の状況.....</b>	<b>24</b>
<b>3-2-3 土壌及び地盤、地形、地質の状況 .....</b>	<b>32</b>
<b>3-2-4 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 .....</b>	<b>36</b>
<b>3-2-5 景観及び人と自然の触れ合い活動の状況.....</b>	<b>42</b>
4. 環境調査実施の流れ.....	47
5. 環境調査項目とその手法.....	48
<b>5-1 調査範囲の考え方.....</b>	<b>48</b>
<b>5-2 環境調査項目 .....</b>	<b>50</b>
<b>5-3 調査方針及び調査内容について.....</b>	<b>50</b>